

財務格付判定
2023年3月期
S

FAS形式基準による財務格付けの判定								
自己資本比率	債務償還年数							
	～5年未満	～7年未満	～10年未満	～15年未満	～20年未満	～40年未満	40年以上	CFマイナス
30% 以上	S 超優良先	A 優良先	B 良好先	D1 要注意先	D1 要注意先	D1 要注意先	D1 要注意先	D3 要注意先
15% 以上	A 優良先	A 優良先	B 良好先	D1 要注意先	D1 要注意先	D2 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先
自己資本プラス	B 良好先	B 良好先	C 正常先	D1 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先	D3 要注意先	D4 要注意先
自己資本マイナス 債務超過解消年数 3年以内	D1 要注意先	D1 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	E 要管理先
10年以内	D1 要注意先	D1 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	E 要管理先
10年超	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	E 要管理先	E 要管理先	E 要管理先	F 破産懸念
債務超過且つ 当期利益マイナス	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	E 要管理先	E 要管理先	E 要管理先	E 要管理先	G 実質破綻

正常先	S	財務状況が極めて良好
	A	財務状況は良好で資金調達に不安が無い
	B	財務状況に問題は無いと言える
	C	財務状況に問題は無い水準だが、ランクアップは必要
要注意先	D1	財務状況に課題があるものの金融機関によっては正常先に猶予している場合がある
	D2	財務状況に課題があり、基本的にプロパー融資が難しくなる
	D3	基本的に要注意先となり、3年から5年で正常先に戻れるかが重要（無理ならば D4）
	D4	要管理 = 不良債権となるギリギリの財務状況改善が必達新規融資は難しい
要管理先	E	不良債権扱いとなり、金融支援はリスクが前提
破産懸念先	F	不良債権として整理対象
実質破綻先	G	金融支援が難しい